

夏の棚田と生きものたち

生物多様性を学ぶ現地見学会

6月19日、市立鳳来寺山自然科学博物館主催《あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業》により「上島田の棚田」と「四谷の千枚田」の市内2カ所で生物多様性を学ぶ現地ツアーが博物館友の会の小椋克好会長と同館学術委員の小山舜二を講師に行われた。

学習内容

棚田は、傾斜地にある水田を言う。傾斜がきつい土地で、狭い水田が規則的に集約し、それらが一望のもとにある場合は千枚田とも呼ばれる。

日本の稲作の適地は、水が豊富で、かつ、水はけが良い土地で、江戸時代以前では、傾斜の少ない沖積平野は稲作に向いていなかった。そのため、水はけの良い傾斜地に棚田を作って耕作することが一般的であった。近世以降は灌漑排水技術が向上し、現在では、傾斜の少ない河川下流域の平野に稲作が多く広がっている。

棚田は食料生産の場としての機能のほかに、雨水の保・貯留による洪水防止、水源の涵養、多様な動植物や貴重な植物の生息空間としての役割、また、美しい景観をかもしだし、人々の心に潤いを与えてくれる。

棚田の米は美味しい。その理由として平坦地に比較して昼夜の温度差が大きく、稲がゆっくり熟すこと、水源が近いこと、水の中の微量元素が多く、汚れが少ないこと。刈り取った稲は「はぎ干し」で日光と、寒暖の差の恵みを受け、じっくり乾かすことなどが美味しい理由にあげられる。

『島田の棚田』

島田の棚田は豊川支流巴川上流の島田川沿いにあり、現在、耕作されているのは上島田集落(標高360m~付近)が最も多く、集落から柿平橋までに85枚、下流の坂角橋までに10枚、島田神社から中島田に29枚ある。上島田の棚田を除いて島田川の山沿いの棚田には植林された杉林が目立つ。上島田は花崗岩で積まれておりほとんどが加工された石で、石垣が大変整って見え、見れば見るほど先人たちの棚田への思いが伝わってくる。なお、岸边は急傾斜地のため、三面張りになっており魚影は見えない。

沿道にはササユリが可憐に咲きかけていた。

『四谷の千枚田』

日本の棚田百選の一つ。四谷の千枚田は、鞍掛山を背に見事な景観を醸し出している。谷に広がる棚田を支える石垣は、すべて現地の転石を利用して組まれている。岩石の種類はデイサイト(石英安山岩)やピッチストーン(松脂岩)などの火山岩類である。千枚田は、何千年にもわたって何度も繰り返した土石流によって運ばれたものと考えられる。最後の土石流は明治37年7月10日の長雨で大量の土砂が土石流(山津波)となって沢沿いの棚田と民家を打ち壊し11名の尊い命を奪う大災害を引き起こした。



しい米づくり」を推奨。田んぼや沢にはオタマジャクシやタニシ、ドジョウなどが多く生息。食の安全が実感された。

四谷の

千枚田だより



第83号

I Love 千枚田〜感謝を込めて

今年も六月に開催された「灯そう千枚田／お田植え感謝祭」。

第一回目に市長と共にお招きいただき、二回目には、灯をともすお手伝いもさせていただき楽しい思い出となりました。

畦に並べられたロウソクに、たくさんの方々の手で次々と火が入れられていきます。そして、その全てがともされた時、千枚田はすっかり姿を変えていました。それはそれは素晴らしい幽玄の谷に。可憐な光のひとつひとつが揺れて、はかなくも美しい空間を創り上げていたのです。

近くで見る灯火は小さいながら、温かく、かわいらしく頑張ります。そして、それが集まった時、それまでとはまったく違うアートのような場を演出するのです。

もちろん、昼の千枚田も同じです。夏は丁寧に植えられたひとつひとつの苗が若々しいグリーンのモチーフを。秋は収穫を待ったわわな稲穂がおちついたイエローの輝きを見せてくれます。

そう、この千枚田が、多くの方たちのご苦労によって支えられていることを象徴するかのようです。

ひとりひとりの頑張りやひとつひとつになった時、そこには大きな誇りが生まれることでしょう。それはかけがえのない地域の宝でもあります。千枚田にたずさわる皆様のご苦労に心から感謝するとともに、(C)2010を機に、世界の人々に四谷の千枚田

の素晴らしいさが伝わりますよう祈っております。

こども農学校

穂積孝子

J A愛知東では毎年、六十五人規模の小学生を募り、農業体験を実施している。

その一環として「四谷の千枚田」では高橋庄一(顧問)のお世話で田植え、生育調査等、収穫までの稲作を通じた体験学習を行っている。



七月三日、参加したこども達は千枚田の入り口からそれぞれの班を編成、J A職員が所々に設けた「お米について楽しく学ぼう」と題したクイズを解きながら実習田に到達。自らが植えた早苗の成長調査を行った。

ツアー客

ゴールデンウィーク始めから関

東園の観光客(主に神奈川、東京)がバスツアーを組み、頻りに訪れるようになった。

いろいろ聞いたところによると・茶臼山高原の芝桜↓四谷の千枚田↓三谷温泉泊のコース。

「きつかけ」市観光協会から「四谷の千枚田」パンフレットを入手。とりあえず七月までを企画。募集人員により一台から四台を運行。

「客の評判」素晴らしい光景だ。よく、残してくれた。ご苦労が多いことと思うが、頑張ってください。

絶景と癒しを感じる心のふるさとだ。等々

都市交流

三河の山里ツアーリズムが縁で、名古屋を中心とした四世帯、十五名が労働奉仕と癒しを求めて訪れた。

入梅の真っ最中、朝まで降った雨

も上がり涼風のなか、田の草取りをサツサと仕上げ、目的のバーベキューと相成った。

棚田談義のなか、自動販売機を置かない強い意志と、ゴミが無いことが話題となった。

|| これだけの器量を持った棚田にゴミはあわないよ||



国際的になった千枚田

最近、千枚田を訪れる人たちに外国人がちよくちよく見られる。

いろいろ聞かれても、イングリッシュが話せない棚田の百姓でも大丈夫。外国人は日本語が話せるから：：《ハンガリーからの来訪者》



納涼盆踊り大会

八月七日(土)、連谷公民館主催の盆踊りが連谷小学校校庭で行われます。大勢の参加をお待ちします。

行 平成二十二年七月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文責 小山舜二